

## お家にも彩りを 自分でできる「ドライフラワー」の作り方

ドライフラワーの作り方には、「ハンギング法」・「シリカゲル法」・「ドライインウォーター法」の方法がありますが、今回は家庭でもできるハンギング法で説明します。

### 「千日紅」のドライフラワーの作り方

- ① 用意する物
- ・千日紅
  - ・植物用はさみ
  - ・麻紐（輪ゴムでも代用可能）



- ② 根元を切り落とします。  
（水に浸かっていた部分など）

- ③ 複数本まとめて麻紐（輪ゴムでも可）縛ります。  
茎が細いので乾燥中に抜けないようきつくまとめます。  
反対側の端を輪っかにしておくと吊しやすいです。



- ④ 風通しのよい。直射日光が当たらない場所で、1～2週間ほど吊します。  
急いでいる場合は、扇風機やエアコンの風を当てると乾燥が早まります。その際、強く当てないように気をつけましょう。

- ⑤ 飾ってみよう！
- ※ コーティングスプレーなどで保護すると多少ですが長持ちします。
- ・リボンを使ってリース
  - ・ラッピングシートを使って飾る
  - ・他の花と一緒にリースをつくって飾る



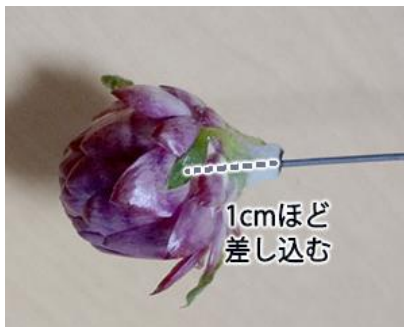
## 「帝王貝細工」のドライフラワーの作り方

例) 花だけを、針金を使ってつくってみよう。

- ① 用意する物
- ・帝王貝細工
  - ・植物用はさみ
  - ・針金



- ④ 花の選び方  
気をつけてね!
- ・蕾の茎は細く柔らかい
  - ・咲いた花の茎は繊維質で硬くて太い



- ③ 陰干しをする。

- ・花だけの場合  
針金を左写真のようにして差し込む。
- ・茎からの場合は、千日紅と同様に吊るし陰干しをする。

- ② 陰干しをする。
- ・花だけの場合
  - ・コップなど右写真のように入れて乾燥させる。



- ⑥ ワイヤーを使ってリースを作ってみよう。